

文化資源学コース

日本文学研究室	福田智子	MK610
歴史文化情報研究室	鋤柄俊夫	MK513
時空間情報科学・ 行動計量学研究室	津村宏臣	MK510
人文情報学研究室	河瀬彰宏	MK706
芸術史研究室	中安真理	MK609

日本文学研究室（福田智子）

<研究目標>

文学研究においては、用例を網羅的に集めて、その語句がもつ独特のニュアンスや、使われ方の規則を吟味する、実証的な研究スタイルが伝統的にとられてきた。本授業においても、この実証的な研究方法によって、日本文学研究をおこなう。

ただし、キーワードの発見や用例収集には、近年、情報科学の分野で注目されている、データマイニングの技法を用いる。小売・サービス業で、販売時点情報管理（POS）システムなどで集めた大量のデータを分析し、「金曜日の午後には缶ビールと紙おむつを一緒に買う女性客が増える」といった意外な法則を発見するというものである。

そのためには、まず、作品の電子テキストが必要となる。『古今和歌集』や『源氏物語』などの古典文学から、近代・現代文学に至るまで、幅広い文学作品の中から、研究の中心となる作品を選び、その電子テキストを準備する。既存の電子テキストを加工して用いる他、写本・版本や活字本などの紙媒体から、新たに電子テキストを作成する。

研究対象とする作品のテキストが大部であればあるほど、情報科学との連携は、文学研究にとって有益である。そのテキストを、研究目的に適した文字列解析ツールを用いて分析し、結果を吟味する。つまり、日本文学作品の「ことば」を対象に、テキストを適切に分析・整理することで、新たな文学的知見を得るのが目標である。

<ゼミの内容>

ゼミでは、夏休み前までに、(1)研究対象とする作品の選定と通読、(2)具体的な問題提起（どのような観点から作品を分析するか）、(3)電子テキストの準備と解析ツールの選定、(4)参考文献一覧の作成の完了を目指す。そうすれば、夏期休暇中には、文字列解析実験がある程度進めることができるはずである。

そこで、秋学期からは、用例収集とその吟味を通じて、できるだけ有用な知見が得られるよう、時間の許す限り、さらに実験を繰り返す。そして、その結果の意味づけについて、ゼミ生全員で意見交換する。また、論理的文章を書くための論文執筆法を教授し、ゼミ生が執筆した論文について、個別指導をおこなう。

<ゼミの指導計画>

——卒業論文執筆の準備——

- 1 写本・版本を扱う研究と、活字本による研究との違いを解説する。
- 2 伝本研究と表現研究の例を挙げ、問題提起のしかたを示す。
- 3 用例収集から分析、意味づけに至る、一連の研究方法を解説する。
- 4 卒業研究として扱うに値する作品を、成立年代・内容・作者の観点から解説する。
- 5 各人が選んだ研究対象とする作品を報告する。
- 6 MAGAZINEPLUS、BOOKPLUS、国文学研究資料館のサイトなどを閲覧する。
- 7 各人が参考文献一覧を作成し、先行研究の状況を報告する。
- 8 利用可能なテキストとツールを用いてデモンストレーションをおこなう。
- 9 各人が既存の電子テキストの有無と使用ツールについて報告する。
- 10 既存の電子テキストを加工する必要がある者がサンプルを提示する。
- 11 新たに電子テキストを作成する必要がある者がサンプルを提示する。
- 12 テキストの整備を完了し、文字列解析実験に入る。

——卒業論文の執筆——

- 13 文章の構成や表現、文献の引用のしかたや注の付け方について、具体例を示す。
- 14 先に設定した問題設定が適切かどうか、再度確認する。
- 15 具体例を通して、文学的意味づけの可能性や問題点を考える。
- 16 論文の構成の概略を発表し、意見を出し合う。
- 17 論文の構成について、問題点を改め、再度意見を出し合う。
- 18 論文の目次を決定し、執筆を開始する。
- 19 書き上げた部分から、随時、文章の添削をおこなう。
- 20 論文の書式・内容に関する最終的なチェックをおこなう。

〈注意事項〉

卒業論文の執筆は、個人的な作業である。だが、作業の進捗状況を報告し合うことで、切磋琢磨しながら、ゼミ生全員で、論文完成を目指していつてもらいたい。

研究対象が決まったら、肌身離さずその作品（本）を持ち歩き、可能な限り時間をかけて熟読すること。電子テキストを文字列解析ツールで分析するにしても、作品を読むことによって得られる知識と学問的直感は、分析結果の吟味をする際に、必要不可欠である。

夏期休暇前に、文字列解析実験をおこなう準備が完了していることを目指す。休暇中に、どれだけ実験を繰り返すことができるかが、卒業論文の質を左右することを肝に銘じてほしい。

秋学期からは、ゼミ内で発表をおこない、意見を交換する。研究対象とする作品の説明と、問題提起、予想される結論の方向性を示す。スライドを使って、論理の枠組みを整理することで、それまで準備してきた内容を、自ら把握し直すことができる。

その後、問題提起、論証、結論の流れに沿って、卒業論文の執筆を開始する。専門用語はできる限り使わず、専門外の人にもわかるような丁寧な説明を心がけてほしい。

なお、卒論指導の際、論理の組み立てを述べる時はスライドを用いるが、用例の意味づけの段階では、収集した用例を列挙したプリントをゼミ生に配布し、ともに考える資料とするのがよい。

卒論指導は、原則として、週一回おこなう。就職活動などで出席できない場合は、必ず事前に申し出ること。無断で欠席した場合は、厳しく対処する。

卒業論文を期限内に提出し、かつ、その内容が、審査を経て、卒業論文に足るものと認められなければ、単位はない。計画的にゆとりをもって準備を進め、内容に関する指導をじゅうぶんに受けられるようにしてほしい。

【卒業研究題目例】

▼額田王の歌の表現享受の様相▼山城国・大和国の歌枕—名所和歌の表現類型—▼『伊勢物語』の絵画化—江戸期の歌留多を中心に—▼バイエルン州立図書館所蔵小野通女筆『源氏物語』幻巻の本文▼『源氏物語』の接頭辞「なま」について▼『源氏物語』の馬—平安貴族が馬に乗るとき—▼同志社大学蔵『源氏御手かゝみ』の本文と字母の使い分け▼『源氏物語』の絵画化—江戸期の歌留多を中心に—▼西行『山家集』の表現▼京極派和歌の表現特徴▼与謝野晶子『新訳源氏物語』菊版と縮刷版の本文比較▼芥川龍之介『羅生門』の比喻表現▼中島みゆき「夜会」における歌詞改変

※ゼミが始まる前から、とくに意識して身につけておくべきことはなにか、自分で考えてみよう。相談にも応じます。

歴史文化情報研究室

1、重要なポイント

(1) 日本の歴史の研究室です。あつかう資料は「非文章（非文書）」資料です。基本的な研究法は、データの分類分析による文化比較です。

(2) たくさん本を読んで、たくさん文章を書きます。文章は、パソコンのモニターを見て仕上げるのではなく、必ずプリントアウトして、手書きで推敲して修正してから提出します。ゼミでは各自の卒論の各章や各節を読み合わせます。

(3) 対象とする時代は、講義でおこなっている平安時代から安土桃山時代までがメインで、最大に幅を広げた場合の時代は、弥生時代から江戸時代です。

(4) 基本的な進め方

①テーマに関係する先人の研究を学ぶ→先行研究の本を読む

②これまでの研究を文章にまとめて、その到達点と課題を整理して研究目的を明確にする

③研究に必要な資料（「形のあるもの（絵も含みます）」）を「たくさん集め」て、その画像を「スキャン」して「デジタルアーカイブ」する

④それらの画像を見比べて、資料を自分の視点でまとめ直し、特徴を見つけ、分析項目を決める→資料の特徴が他者にわかる説明の文章を書く

⑤分析項目毎に特徴をデータ化してデータ分析をおこなう

2 値化などをして多変量解析（クラスター分析や対応分析など）で分類したり

デジタルマップで分布図を作成して視覚化したり

⑥分類の結果の歴史的な意味を、時代差や地域差や階層差などをふまえて仮説をたてる

⑦その仮説に対して先行研究をふまえた考察をおこなう→研究目的の達成

(5) 卒論の初稿の提出は、例年 11 月 20 日で、12000 字以上です。12 月はさらにデータのチェックをして再分析をして、付図・付表の編集をして、原稿を相互に読み直して、超多忙です。

(6) すでに研究テーマのイメージを持っている人もいますが、**面接希望者は**、後日 MK513 ドア横に掲示する「面接要領」を熟読し、あらためて、自分がテーマにしたい「形のあるもの（絵も含みます）」や研究目的などを考えおいてください。

(7) 配属が決まったら、3 回生の年末までに、各自がイメージした「形のあるもの（絵も含みます）」が、どのような研究につながるかを、個別に相談をして、各自の課題図書を決め、年明けに、その本の要約レポートを提出してもらいたいと思っています。

(8) 卒業研究は皆さんの仕事です。教えてもらうことをするのではなく、自分で目的をさだめ、必要な資料を自分で探して集め、それを自分で考えて分析して、なによりもそれを文章にしてメンバーの意見を聞きながら試行錯誤することがポイントになります。その意味で卒業研究は、皆さんの予想以上に手間と時間のかかる仕事です。**数多くゼミに参加して、地道な作業を繰り返し、研究を積み重ねることが、完成にはとても大事なことになります。**

2、おおまかなスケジュール

1～3月：随時テーマ相談～仮テーマ決め

4～7月：登録・基本的に火曜3・4のゼミで研究計画書作成・研究計画書提出

8～9月：各自で資料収集・調査など

10～12月：コロキアム発表・資料整理・分析・考察・編集・読み合わせ・点検・卒論提出

1月：試問会

3、これまでの卒論テーマとなった「形のあるもの（絵も含みます）」

「平安貴族邸宅」「装飾古墳の図文」「大和の前期古墳」「百舌鳥・古市古墳群」「大和における古墳時代後期」「四隅突出型墳丘墓」「前方後円系古墳」「終末期古墳」「飛鳥の宮」「纏向遺跡」「蔵屋敷」「主図合結記」「京都藩邸」「草戸千軒町遺跡」「戦国城下町」「洛中洛外図屏風」「鯰絵」「一遍上人絵伝」「参詣曼荼羅」「家紋」「蓮華文軒丸瓦」「小袖の文様」「伽藍配置」「懸造」「法華宗寺院」「寺町と御土居」「近世京都の名所図会」「グスク」「山城」「織豊期城郭」「渡来銭」「山車」「七不思議」「白山信仰」「聖徳太子信仰」「染付文様」「乾山の作品」「遠州七窯」「肥前系染付皿文様」「緑釉陶器」「平安時代庭園」「臨濟宗寺院庭園」「鐔文様」「定朝様式」「東国の寺院」「人物埴輪」「目貫」「近世城郭」「江戸時代の温泉番付」「近世宿場町」「政略結婚」「合戦図屏風」「変り兜」「地獄絵」「風呂敷文様」

4、昨年度のテーマ

『諸国産物大数望』にみる近世上方の庶民が好んだ食品の特徴

構成要素で見る百鬼夜行絵巻の分類

禅宗寺院庭園の分類と作庭家ごとの特徴

江戸時代における結髪の特徴研究

建築構造からみる神社本殿の特徴分類

近世城下町の分類研究

観音像の時代ごとの特徴の変遷

京都の伝説にみる異界と人々の認識

『名所江戸百景』にみる江戸の橋周辺の特徴

当世具足の胴の分類から見る新たな特徴

『大日本神社佛閣参詣所舩』にみる江戸時代の名所に対する意識

尾張と美濃と三河における織田勢力の山城の特徴

中世寺内町における環濠城塞都市の系譜

江戸時代における装飾からみる小柄の変遷

5、面接と問い合わせ先

「面接要領」は後日 MK513 のドア横に掲示(熟読・要予約)

鋤柄俊夫、tsukigar@gmail.com



同志社大学文化情報学部

時空間情報科学・行動計量学研究室

Spatiotemporal Informatics and Behaviormetrics Laboratory

担当教員： 津村宏臣（文化・社会人類学、社会資源学、文化経営学など）

所属コース 文化資源学コース

研究室：MK510 共同研究室：MK205

htsumura@mail.doshisha.ac.jp（来室前のアポが吉です...）

➡ 時空・行動研 の 年間スケジュール

3年生時・・・ジョイントリサーチ科目の登録と履修

JR11 文化遺産の非破壊調査と社会資源化に関する研究

杉本先生（行動データ科学コース）とともに



このJRでは、地域の文化遺産や文化資源を、そのままの形でどのように社会資源化していくかを考えます。調査機器や調査方法の開拓だけでなく、社会還元のための企画運営や地域（ふるさと）創生の実践を、京都・岡山・香川の各地方行政機関と連携しながらおこないます。

JR31 文化・社会現象の相転移に関するモデリング研究

原先生（データ科学基盤コース）とともに



このJRでは、文化や社会という不可視で連続的な実体のなかに、時空系列での漸進系統性と断続平衡性を発見、調査、モデル化、検証する研究をおこないます。文化や社会の数値シミュレーションやモデルを通じた理解と、人文社会的な知識をもった理解を融合する実践をおこないます。

4年生時・・・卒業研究I・IIの登録と履修

※基本的な研究の進め方

4月 - 個別テーマを個人面談で決定します

5月 - 関連文献の精読と要約作業・文献リストを作成します

6・7月 - 調査対象の決定と調査方法を確定させます

8・9月 - 現地調査・データ収集を完了させます

10月 - データのハンドリングと分析結果を報告します

11月 - 執筆と編集を遂行します

12月 - 確認調査を実施し、卒業論文を提出します

※ ゼミは毎週1～複数回（進行度にあわせ）です

※ 類似分野は合同でゼミをおこないます

※ データは現実社会にありますのでそれを知りましょう



➡ 時空・行動研 の 心構え

3年生時・・・グループディスカッションとブレインストームと

共同で研究をする“仲間”をしっかり把握しましょう

わからないことは「わからない」といえる人になりましょう

（無知の知は非常に大切です）

社会と文化に“ちゃんと”接点を持ちましょう

4年生時・・・インフォーマントと地域社会・文化へのまなざしを

すべてを自分の物差しではかることはやめましょう

不可視なもの「だらけ」であることを探知し、疑いましょう

能動的に生きましょう ⇒ 消極的だと損をするかもしれない

→ 時空・行動研 の 就職先は？

民間企業・公務員・自営業・各種サービス業など様々です
大学院進学も、学内・学外で推奨しています ⇒ ぜひ文化情報学研究所へ
NPOや国際NGOなど、国外で活躍している卒業生もいます

→ 時空・行動研 の よくある質問



絶対海外のことをしないといけませんか？ = そんなことはありません

現地調査は必須ですか？ = 必須にしたいですができていません

アンケートでいいですか？ = その質問は誤りです 考えましょう

サンプルはどの程度必要ですか？ = その質問も誤りです 考えましょう

ネットの情報でいいですか？ = その質問も誤りです 考えましょう

就職活動はしていいですか？ = どうぞ おおいに社会経験です

ゼミは厳しいですか？ = 無知を知らないと厳しいでしょうね、きっと

グループ活動が苦手です = 大丈夫です 私もかなり苦手です

世界中でどこが一番楽しかった？ = 個人的にはモルディブ共和国です

世界中でどこが一番しんどかった？ = ダントツでウガンダ共和国です

統計がわかりません = わかりました いっしょにやりましょう

数学がわかりません = わかりました いっしょにやりましょう

社会がわかりません = わかりました いっしょにやりましょう

先生は文化情報学部が嫌いですか？ = 好きです 公募で来たのですから

人類学者ってナニモノですか = 世界を多視点でみる変態(色物)です



→ 時空・行動研 の 2018年の卒業研究のテーマは？



近年のM-1グランプリに見られる漫才の技法

映画Harry Potterにみるイギリスの階級社会と方言

アクティブラーニング型授業の調査・研究

テーマパーク・遊園地に使用される言語から見たテーマ性の違い

トッププロテニスプレイヤーの試合経過と状況の変化への対応評価

観客のユニフォーム着用が選手のプレーに与える影響について

美容系YouTuberにみられるメイクの創造性と評価の傾向

ファッション系インスタグラマーの投稿写真の傾向と特徴

発言からみるキャプテンシーの本質 -サッカー日本代表を例に-

映画ポスターから見る象徴文化-日本と海外を比較して-

日本のスポーツイベントの実態把握と提案

新聞の記事構成から見た世論形成について

ゼクシィから見る結婚式の非日常性

見た目における欠点を扱う笑いの定量的分析-非社会性に着目して-

長崎・外海地方における世界遺産登録の影響

文化財の3次元アーカイブ化とその応用~九重の塔のモニタリングを例に~

博物館に展示における三次元データ利用の可能性に関する評価

YouTubeコメントの傾向と内容



→ 時空・行動研 の こんな人だとありがたいという希望



ヒトとチイキのコトバに耳を傾ける「無知」を知り学ぼうとする学生さん
自身を相対化できる経験と知識、他者を理解しようとする姿勢の学生さん

Digital Humanities Laboratory

人文情報学研究室

河瀬 彰宏

1 概要

人文情報学 (Digital Humanities) とは、歴史的な文献・地図・写真・絵画・音楽など、従来の人文科学分野の対象に定量的研究を導入し、新たな解釈の可能性を提示することを目的とします。本研究室では、「論理と方法」を合言葉に、文化現象に内在する意味・解釈・法則性を科学的に分析・記述・表現するための研究を行います。

本研究室では、各々が関心をもつ課題に対して、解決に必要な道具を自ら揃えて分析する能力を養うことを目指します。

2 年間計画

- 週1回の全体ゼミと、任意に個別ゼミを実施
- 春学期は論理的な文章の書き方を習得、分析手法の整理
- 秋学期は卒業論文の執筆、進捗報告、口頭発表練習を実施

02月	顔合わせ／研究テーマの選定	08月	予備調査／データの収集
03月	研究計画草案提出	09月	ゼミ合宿／データの分析
04月	全体ゼミ開始	10月	卒業論文執筆
05月	先行研究の調査	11月	中間発表
06月	構想発表／研究テーマの決定	12月	卒業論文提出／顔合わせ
07月	研究計画書の執筆	01月	卒業論文諮問会準備／諮問会

3 研究室配属のための面接

文化資源学コースが定める配属方式に則り研究計画を送付してください。また、ミスマッチを防ぐために5分程度の面接を実施します。研究課題の実現性および具体性の説明に対して評価します。本紙のQRコードから事前に面接希望日時を複数をお送りください。希望日時が少ない場合は、面接できない場合があります。



4 過去の卒業研究テーマ

■ 2016年度卒業生

- 原作小説と実写映画における物語構造の差異に関するテキストの計量比較
- 楽曲聴取における言語情報と作業効率の影響関係の解明
- 外食産業におけるコストパフォーマンスの評価基準の解明
- 日本のヒット曲における年代的特徴の解明 — 1960–2010年代までの歌詞の計量分析
- ワイン批評テキストの計量分析 — 生産地による味わいの比較
- 漫画作品における計量的分析手法の確立 — 推理漫画からの物語構造の抽出
- 日本音楽における大局的構造の抽出 — 調性判別アルゴリズムの実装と適用

■ 2017 年度卒業生

- 吹替洋画における声優と俳優の音声演技技術の比較分析
- 実写映画における原作の媒体ごとの作品を評価づける要因の違いの解明
- 原作小説とミュージカル映画における物語構造の差異の抽出
- ベートーヴェンを中心とした弦楽四重奏の比較分析
- 打球の方向と飛距離に基づく高校野球の勝敗予測
- マンドリンのトレモロ奏法における初心者と熟達者の計量比較
- バイク批評の計量分析 — 語彙の使用傾向によるバイクの種類の比較
- 日本でヒットした CD アルバムにおける曲順とテンポの年代比較
- 山口県における選好型観光アクセスマップの生成
- 日本のコンシューマーゲーム市場におけるキラーソフトの計量分析
- 萩尾望都作品における人物関係の特徴の解明
- 日本のヒット曲におけるわらべうたのリズム構造の抽出
- 東日本の民俗音楽における和太鼓のリズムパターンの計量比較
- スマートフォンの売上ランキングにおける外見的特徴の解明
- 色彩に基づくビール批評の計量比較
- 古典派ピアノ・ソナタにおける構造の比較分析
- 日本の流行歌におけるメロディの経年変化の解明
- Twitter のハッシュタグを用いた音楽ジャンルの関連性の分析
- SNS 上における雅楽と能楽に対する価値観の比較
- 歌声の音域の違いによる印象評価の比較分析
- 《子供の情景》と《子供の領分》の比較による「子供らしさ」の解明

■ 2018 年度卒業生

- 賛美歌の音高と音価に着目した不詳曲の年代推定
- 音程推移と音価に着目したクラシック音楽の主題の比較分析
- Vogler の「英雄の旅」に基づく 2.5 次元ミュージカルの物語構造の抽出
- 同志社大学マンドリンクラブにおける演奏会プログラムの遷移の計量分析
- プロ野球球団のロゴマークにおける色彩の分析
- テトラコルドの変化が人に及ぼす印象の分析
- 波形の特徴量を用いた楽曲の類似性と色彩表現の対応関係の分析
- J.S.Bach におけるコラールの内声と外声の計量分析
- 『名探偵コナン』における吹き出しの面積と文字量の比較分析
- ディズニー作品におけるプリンセスの女性像の計量分析
- Bruckner の交響曲における主題の比較分析
- 漫画タイトルの文字種に着目した三大出版社の比較分析
- 日本各地における特産品を支える産業形態の比較分析

5 関連図書

関心のある方は、次の人文情報学と関連する読み物に目を通してください：

- Aiden, E., and Michel, J-B.: *Uncharted: Big Data as a Lens on Human Culture*. Riverhead Books. 2013. (『カルチャロミクス — 文化をビッグデータで計測する』 阪本芳久訳, 草思社. 2016.)
- Burdick, A., Drucker, J., Lunenfeld, P., Presner, T. and Schnapp, J.: *Digital Humanities*. MIT Press. 2016.
- Manning, C. and Schuetze, H.: *Foundations of statistical natural language processing*. MIT Press. 1999. (『統計的自然言語処理の基礎』 加藤恒昭・菊井玄一郎・林良彦・森辰則訳, 共立出版. 2017.)
- Moretti, F.: *Distant Reading*. Verso. 2013. (『遠読 — 〈世界文学システム〉への挑戦』 秋草俊一郎・今井亮一・落合一樹・高橋知之訳, みすず書房. 2016.)
- 村井源編：『量から質に迫る — 人間の複雑な感性をいかに「計る」か』, 新曜社. 2014.
- Temperley, D.: *The cognition of basic musical structures*. MIT Press. 2001.

芸術史研究室 (担当：中安真理)

この研究室は、人間の文化的な営みの足跡を、美術史・音楽史などの芸術史の研究を通じて明らかにすることをめざします。

美術史 — 美術作品を調査研究し、その歴史的展開を跡づける学問

音楽史 — 音楽とそれに関連する様々な資料を歴史の観点からとらえようとする学問

■研究対象

日本や中国を含む東アジアを中心とした美術作品（絵画、彫刻、工芸など）

日本や中国を含む東アジアを中心とした音楽の歴史に関する資料（楽器、絵画に描かれた奏楽場面、文献史料など）

■研究の流れ

1. 研究対象にしたい美術作品、作者、資料などを選ぶ。
2. その対象について、先行研究、つまり先人が積み重ねてきた研究の成果である**学術論文・研究書を自分で調べ、数多く読み、その内容を理解する。**

この作業を通じて、これまで明らかにされてきたことと、いまだに明らかになっていないことの“仕分け”ができる。

3. 自分で調べた先行研究について様々な角度から検討し、先人の研究結果に誤りはないか、さらには、自分独自の調査分析を通じて、新たに明らかにできることや発見はないか、などを探っていく。この過程で、**研究対象に関連する幅広い情報や資料を自力で集めることになる。**

調査研究を進めながら、自分の考えの“裏付け”となる“証拠”をそろえていく。

4. そろえた“証拠”を使って、**可能なかぎり客観的・科学的な分析を行なう。**
5. 得られた研究結果を、**自分の言葉で文章化する。**

誤字脱字、文法の誤りに十分留意し、他人が読んで分かる文章にする。

■卒業論文提出までのスケジュール

3 回生

4 月～9 月 プレゼミを行い、テーマを探る

10 月～翌年 3 月 テーマ決定、先行研究の収集と読み込み



4 回生

4月～7月	ゼミ（曜日未定）に出席し、初稿執筆を進める
7月下旬	研究計画書（初稿の一部を以て代替 4,000字以上）を事務室へ提出
夏期休暇	各自で調査、分析、執筆を進める
9月下旬	8,000字以上の初稿執筆完了 修正作業を行う
10月以降	コロキウム発表、初稿完成（12,000字以上）に向けて執筆、編集
11月20日頃	初稿完成 徹底した修正、編集作業を行う
12月20日頃	卒業論文を事務室へ提出
1月下旬	試問会

■ゼミ生の研究テーマ（一例）

2019年度

- ・他界に伸びる幽霊の下半身 ～幽霊画における幽霊の下半身表現の変遷～
- ・着物の柄の変遷 一扇柄に着目して～
- ・小堀遠州作品（枯山水庭園）の特徴分析 ー江戸時代の庭園からー
- ・天神像から見る菅原道真の印象の変化 ー御霊、天神各信仰を踏まえてー

■注意点

- ・**卒業研究を進めるのはみなさん自身**です。**週1回のゼミには必ず参加**して、**少しずつ執筆**するようにしてください。執筆と修正作業の繰り返しを経て、ようやく卒業論文が完成します。早期に着手し、コツコツと書きためることが大切です。
- ・ゼミでは各自の研究報告と質疑応答、コロキウム発表の練習などを行ないます。
- ・資料収集や調査研究にあたっては、図書館を活用してください。また、各種のデータベースも役に立ちます。
- ・論理的な文章を書くように心がけてください。
- ・誤字脱字、文法の誤りがある文章は、何度でも修正してもらいます。

■まずは面接を

この研究室への配属を考えている人は、事前に下記アドレス宛にメールで連絡の上、夢告館 606 に来てください。その際、現時点での卒業研究の構想について説明してください。

連絡先：中安真理 mnakayas@mail.doshisha.ac.jp

